

過労死をゼロにし、
健康で充実して
働き続けることのできる社会へ

近年、働き過ぎやパワーハラスメント等の
労働問題によって多くの方の尊い命や心身の健康が
損なわれ深刻な社会問題となっています。
本シンポジウムでは有識者や過労死で亡くなられた方
のご遺族にもご登壇をいただき、過労死等の現状や課題、
防止対策について探ります。

日時

2022年
11月2日(水)
14:30～17:15 (受付14:00～)

会場

札幌コンベンションセンター 中ホール
(札幌市白石区東札幌6条1丁目1-1)

参加
無料
事前申込

過労死等防止対策 推進シンポジウム

新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を行い実施いたします。感染拡大の状況により、開催方法が変更になる場合や、参加者数を制限するなど、規模を縮小して実施する場合があります。最新の情報は特設ホームページにてご確認ください。なお、参加には事前申し込みが必要です。

▼ 特設ホームページはこちら

過労死等防止対策推進シンポジウム

検索



二次元バーコードを
読み込んで下さい。

主催：厚生労働省

後援：北海道、札幌市

協力：過労死等防止対策推進全国センター、全国過労死を考える家族の会、過労死弁護士全国連絡会議、札幌弁護士会、
北海道社会保険労務士会、日本産業カウンセラー協会北海道支部、過労死等防止対策推進北海道センター

「基調講演」

「パワハラを起こす企業と 起こさない企業は何が違うのか —パワハラ上司を生み出さないためにできること—

津野 香奈美 氏 (神奈川県立保健福祉大学大学院
ヘルスイノベーション研究科 准教授)

「過労死遺族の体験談」

「パネルディスカッション」

「パワハラ被害の救済・問題の解決に向けて
一労組・弁護士・遺族・研究者の立場から」

コーディネーター 皆川 洋美 氏 (弁護士)

パネリスト 津野 香奈美 氏・安彦 裕介 氏 (弁護士)

小林 明美 氏 (過労死遺族)・佐賀 正悟 氏 (労働組合)

会場のご案内

札幌コンベンションセンター 中ホール

(札幌市白石区東札幌6条1丁目1-1)

・地下鉄「東札幌」駅より徒歩8分

参加申込について

- ▶新型コロナウイルス感染症の影響により事前申し込みをお願いします。
尚、定員になり次第締め切りとさせていただきますのでご了承ください。
- ▶申し込みは Web または FAX でお願いします。
- ▶参加証を発行いたします。当日、受付までお待ちください。
- ▶定員超過の場合は、メールでご連絡いたします。
- ▶連絡先の TEL か E-mail のどちらかは必ずご記入ください。

●Webからの申し込み:

二次元バーコードを読み込んで下さい。



▼ 特設ホームページはこちら

過労死等防止対策推進シンポジウム

検索

<https://www.p-unique.co.id/karoushiboushisympo>

- 以下の参加申込書に必要事項を記載の上、FAXをお願いいたします。 **FAX 番号 03-6264-6445**
●下記の「個人情報の取扱いについて」に同意の上、ご記入ください。



過労死等防止対策推進シンポジウム [参加申込書]

- 次の該当する□に✓をお願いいたします。

- ☐ 経営者 ☐ 会社員 ☐ 公務員 ☐ 団体職員 ☐ 教職員 ☐ 医療関係者 ☐ 弁護士
☐ 社会保険労務士 ☐ パート・アルバイト ☐ 学生 ☐ 過労死等の当事者・家族
☐ その他 [_____]

お 名 前	ふりがな	ふりがな
	ふりがな	ふりがな
5名以上のお申込みは、 別紙(様式自由)にて FAXしてください。		
連 絡 先	●TEL:	
	●FAX:	
企業・団体名	●E-mail:	

「個人情報の取扱いについて」・ご記入いただいた事項は、過労死等防止対策推進シンポジウムの申込受付業務を目的として使用します。ただし、新型コロナウイルス感染症の感染疑いが生じた場合に、保健所への情報提供に限り使用します。・他の目的ではご本人の同意なく第三者に提供をいたしません。・委託運営株式会社プロセスユニークの「個人情報保護方針(<https://www.p-unique.co.jp/hp/privacy.html>)」に従い適切な保護措置を講じ、厳重に管理いたします。

(お問い合わせ先) 厚生労働省シンポジウム事業受託事業者 株式会社プロセスユニーク

電話:  0570-070-072

E-mail : karoushiboushisympo@p-unique.co.jp



津野 香奈美 氏

神奈川県立保健福祉大学大学院
ヘルスイノベーション研究科 准教授

東京大学大学院博士課程修了。博士（医学）、博士（保健学）、公衆衛生学修士。和歌山県立医科大学医学部衛生学講座助教、同講師、ハーバード公衆衛生大学院客員研究員を経て、2019年より現職。厚生労働省「ハラスメント実態調査」「カスタマーハラスメント・就活ハラスメント等防止対策強化事業」検討委員。